

2019秋 オーガニック業界人向けフランスnatexpo訪問ツアー 2019年10月19日(土)～10月24日(木) 6日間



写真 上：ナットエキスポブース訪問、ナットエキスポ集合写真、ナットエキスポワインエリア
下：ナットエキスポ日本企業の出店、ナットエキスポ展示例、オーガニック朝市

第4回オーガニックライフスタイルEXPOが終わり、早いもので1週間が過ぎました。お陰様で、EXPOも毎年活性化し、日本のオーガニックマーケットが成長していることを実感しています。昨年末、農林水産省が初めて日本のオーガニックマーケット規模の推計を発表しました。2009年の民間調査(当フードトラストプロジェクト調査)で1300億円であったものが、同じ推計方法で2017年に実施した農林水産省の調査では1850億円となり、142%の成長であったことが分かり、実際に成長していることが数字でも明らかになりました。フランスはEUの中でも、オーガニックへの取り組みに遅れていましたが、ここ5年ほどの成長ぶりには目を見張るものがあります。

第1回目ツアー、ではなぜ急成長してきたかの理由を、オーガニック推進のための公的機関の“アジャンスビオ”や“環境省”など関係機関を訪問しながら聞き取りを実施してきました。そして第2回目ツアーでは、オーガニックマーケットの拡大を牽引する学校給食のオーガニック化の現場を訪問し、同時に今回のメインの訪問先のフランスのオーガニック展示会“ナットエキスポ”の視察を行いました。

フランスのオーガニックマーケットの拡大のきっかけになったのは、2007年ぐらいから始まったスーパーマーケットでの取り扱いの拡大、専門店の増大にありました。今回は、その実態を知るための最善の場である“ナットエキスポ”の視察を中心に、フランスのオーガニックマーケットを子細に視察します。

今回、企画主催はオーガニックライフスタイルEXPOの主催団体である一般社団法人オーガニックフォーラムジャパンとなります。このフランスのオーガニック展示会だけでなく、今後オーガニックの先進地のドイツ、イタリア、アメリカをはじめアジアでのオーガニック展示会視察も企画し、日本のオーガニックマーケットの活性化へつなげていきたいと思っております。どうぞ奮ってご参加ください。

一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン 会長 徳江倫明

- 企画主催：一般社団法人 オーガニックフォーラム ジャパン
- 共 催：一般社団法人 フードトラストプロジェクト
- 旅行企画・実施：株式会社 旅倶楽部
- 受託販売・現地プログラム運営：有限会社リボン<エコツーリズム・ネットワーク>

<詳しくは「リボンエコツアー」で検索の上、サイトからお問い合わせ、お申し込みください>

有限会社リボン<エコツーリズム・ネットワーク> 埼玉県知事登録旅行業第2-1198号 ANTA正会員
〒337-0003 埼玉県さいたま市見沼区深作3-36-19 TEL 048-687-5455 FAX 048-677-2933

Email: kiaora@reborn-japan.com URL: <http://reborn-japan.com> 受付時間: 10:00～17:00(土日・祝日は休業)

2019秋 オーガニック業界人向けフランスnatexpo訪問ツアー（日程案）

2019/8/1現在

	期日	都市名	交通機関	時間	行程	食事
1	10/19 (土)	成田 発 パリ 着	AF275 専用車	10:35 16:00	空路、パリへ 到着後、宿泊先へ移動（※航空券自己手配の場合はホテル集合） (パリ市内ホテル泊)	機
2	10/20 (日)	パリ	公共交通 徒歩	午前 午後	日曜日だけ開催のオーガニック朝市 フランス最大のオーガニックプロ向け見本市「ナットエクスポ」訪問 コーディネーター兼通訳の羽生のり子さんがアテンドします。 (パリ市内ホテル泊)	朝
3	10/21 (月)	パリ	公共交通 徒歩	午前 午後	フランス最大のオーガニックプロ向け見本市「ナットエクスポ」訪問 パリ市内オーガニック市場関係視察（スーパーその他） (パリ市内ホテル泊)	朝
4	10/22 (火)	パリ	公共交通 徒歩	午前 午後 夕刻	オーガニック専門店「ビオコブ」など視察 パリ市内オーガニック市場関係視察（スーパーその他） 夕食を兼ねて意見交換会（食事代実費） (パリ市内ホテル泊)	朝
5	10/23 (水)	パリ 発		午前 専用車 13:30	(※航空券自己手配の場合は朝食後、ホテル解散) ゆっくりチェックアウト後、空港へ 空路帰国の途へ (機内泊)	朝 機
6	10/24 (木)	成田 着		8:25	通関後、解散 ～ お疲れ様でした ～	機

※上記日程は往復AFを利用した場合のものです。訪問先は機関・施設の都合により、日程・順序及び訪問先が変更になることがあります。

現地コーディネーター羽生さんからのお誘い

パリで「ナットエクスポ2019」の記者会見がありました。オーガニックスタディツアー1回目の時に事務局長のヴァリュエさんから話を聞き、2回目の時に実際に訪問したプロ用オーガニック見本市です。

今年は、「ビジネス・フランス」という、フランスの製品の輸出を促進する半公半民団体(ジェトロのフランス版)がオーガナイズをして、ナットエクスポ開催中の半日、日本のバイヤー向けに商談の機会を設けるそうです。日本から誰が来るのか聞いたら、大手スーパー社だけということでした。オーガニック業界を巨大な流通業者1社の独占状態になるのは健全な市場の発展が進みにくい心配もありますので、他の企業からも来ていただきたいと思っています。どんな世界でも「1強」状態になるのは良くないと思っています。

今年はスペースを拡大して、アニマル・ウェルフェア商品や衛生用品も出ます。開催時期は10月20-22日です。

本ツアーはオーガニック業界人向けを意識して企画しましたので、加工品が主になると思います。ナットエクスポに1日、他にはオーガニック朝市、オーガニック専門店、通常のスーパー、カルフルのオーガニック専門店、ヴィーガン専門店などの視察を考えています。

スタディツアー1回目の時にレクチャーをしてくださったフランソワ・ヴァリュエさんが、日本とつながりを持ちたいとおっしゃっていました。

夏は一時帰国します。オーガニックライフスタイルフェアでお目にかかるのを楽しみにしております。

パリの5大オーガニック専門店

オーガニック専門店とは、水や塩などの、オーガニックではありえないものや、汚染されていない野生のハーブなどを除き、オーガニック製品のみを扱う店を指す。1990年頃まで、個人商店の「自然食品店」がフランスの各地にあった。そこではオーガニックも、オーガニックでない無農薬野菜も売られていた。そうした小さい店が消えて、次第にオーガニックのみを扱うチェーンの専門店が増えてきた。専門店で扱う製品には、国の認証であるABマークとEUのオーガニック認証の両方、あるいはどちらかがついている。店によっては、国やEUの認証より基準が厳しい民間の「デメテル」や「ナチュラル&プログレ」の認証がついているものを置くところもある。

●ラヴィ・クレール

1948年創立のフランスの老舗の株式会社。291店舗を持ち、モロッコ、レバノンにも出店している。2015年の売り上げは1億2270万ユーロ。別会社の店も含めると1億8000万ユーロに上る。創立当時は協同組合で、1965年には96店舗を展開していた。この店の特徴は自社ブランドが多いことだ。昔は自社ブランドの製品しか売らなかったが、現在は他社の製品もある。それでも6100品目のうち1600が自社ブランドだ。自社ブランドでは国産を重視し、下請けの製造企業の検査のほかに、同社独自の検査もしており、その基準は国とEUの基準より厳しいという。たとえば、遺伝子組み換えは国の基準では0.9%まで混入が認められるが、ラヴィ・クレールでは0.1%だ。本社の建物はエコ建設で、低エネルギー消費の建物だ。屋根をソーラーパネルで覆い、年間868MWを作っている。

●ナチュリア

1973年に1号店をパリに作った。店舗数135以上。その3分の2がパリとその近郊という、都市型の店だ。品目は約1万点。2015年の売り上げは1億5000万ユーロ以上。ナチュリアも自社ブランドが充実しており、150品目以上ある。自社ブランドには、下請業者が記載されている。供給業者は470。2008年に都市型スーパー「モノプリ」の傘下に入った。店舗面積は比較的小さい。最近店の看板をLEDにしたり、冷蔵装置の熱を店内の暖房に使ったりと、環境に配慮した店づくりを始めた。地域によっては500メートルも離れていないところに2軒のナチュリアがあるなど、乱立気味である。

●バイオセボン

不動産会社が始めたという、オーガニック業界の異端児だ。その会社「マルヌ&フィナン」のティエリー・シュラキ社長がバイオセボンの経営者を兼任している。2008年の創立以来、急速に店舗数を増やした。会社の概要を示す資料はなく、売り上げは非公開放だ。2015年12月5日付けのフランスの流通業界紙「リエネール」ウェブ版によれば、「マルヌ&フィナン」は不動産投資会社である。中小企業に投資すれば、投資額の半分を富裕連帯税から控除できることから、投資額の最低7%を回収できるとして、バイオセボンへの投資を富裕層に提案しており、それがフランチャイズ化せず、急速に店舗数を増やすことができた理由だという。同誌の推定では、全体の売り上げは約1億3000万ユーロである。店舗数は100。スペイン、イタリアなどにも出店している。品目数は6000。店内は高級食品店のように清潔で、清潔度は5大専門店中一番だ。

●ビオコープ

1986年に消費者と生産者が一緒に作った共同組合だ。「店は責任ある消費を促すための場である。活動の透明性と製品のトレーサビリティを保証する」などの理念があり、加盟店はそれに従う。加盟店には個人商店も、会社もある。2015年の店舗数は383。売り上げは7億6800万ユーロだった。視線食品は2000の生産者から仕入れている。ビオコープはエコロジーの活動家を自認している。再生可能エネルギーに力を入れ、本社屋の屋根にソーラーパネルを設置し、自家発電で使用電力をまかなっている。野菜・果物の87%が国産だ。エネルギーを使う航空便で運ぶ製品はゼロ。ビオコープは独自で雑誌を出している。無料で店で手に入るが、店で扱う商品の紹介にとどまらず、環境問題や食の安全について独自の記事を載せており、読み応えがある。

●ヌーヴォー・ロバンソン

1993年にパリ郊外のモントレイユにできた。パリとその郊外に18店ある。2014年の売り上げは4353万ユーロ。8000品目以上を扱っている。オーガニックスーパーだが、組織は協同組合である。ここで取り上げた5大専門店の中では一番安い。650の供給業者の8割が小規模業である。価格や種類、供給状況について生産者に依存するのを避けるため、1農家から全量買い取るようなことはしない。別のところで値段が上がるという理由で、顧客カードで割引になるシステムや、量を買うと割引になるというようなマーケティング方法をとらないことを方針にしている。この店の特徴は、食品以外の化粧品、調理道具、ペンキなどのエコ商品が充実していることだ。給与差を少なくしているのも特徴で、最高と最低の給料の差は3倍と低い。モントレイユの地域通貨で買い物ができる。

パリ市では、わざわざ探さなくてもオーガニック専門店に行き当たるほど、軒数が増えてきた。考えて買えば食費はそれほど高くつかない。品目も多いので、フランスで100%オーガニックの食生活は可能である。

2019秋 オーガニック業界人向けフランスnatexpo訪問ツアー 人物紹介

羽生 のり子 / フリージャーナリスト(在仏コーディネーター)

環境、エコロジー、農業、食物、健康、美術、文化遺産を主な分野とするジャーナリスト。
1991年からフランス在住。環境ジャーナリスト協会、自然とエコロジーのジャーナリスト・作家協会、
文化遺産ジャーナリスト協会(いずれもフランス)の会員。共著「世界の田園回帰」(2017年、農文協)。

秋元 一宏 / (社)オーガニックフォーラムジャパン 代表理事、 (社)エシカルビューティー協会 副代表、LOHAS WORLD代表

国内のコンベンション業界に約25年間従事、90年代から廃棄物関連のコンベンションに関わり地球温暖化の
実態を知り環境危機意識が芽生える。
2002年に独立しロハスコミュニティを広める団体LOHAS WORLDを設立。2006年から都内や地方でイベント主催
開催を実施、2006年4月東京都晴海でロハスワールドスプリング主催、同年6月 米国サンタモニカで 第10回
ロハス国際会議JAPANパビリオン主催開催、同時にビジネスツアーを実施、2007年 沖縄宜野湾コンベンション
ホールで第1回沖縄ロハスフェスティバル主催開催、2009年6月にパシフィコ横浜で 第1回グリーン EXPO 主催
開催、2010年以降様々な展示会や百貨店催事等にエシカルやオーガニックをコンセプトとしたグリーンライフ
スタイルゾーンをプロデュース。2015年に国内外のオーガニックを基本としたライフスタイルビジネスの健全な発展
と普及を目的とした団体「一般社団法人オーガニックフォーラムジャパン(OFJ)」を設立、2016年よりBtoBtoCを
コンセプトとした国内最大オーガニックコンベンション、「オーガニックライフスタイルEXPO」を都内で主催開催、
2018年よりプロ向けのオーガニックフード専門商談会「オーガニックフードEXPO」を主催開催、2020年9月には
オーガニックライフスタイルEXPO第5回記念大会として会期会場規模共に拡大開催を計画実行中。

募 集 要 項

■旅行期間:2019年10月19日(土)~10月24日(木)6日間

■現地参加費用:お1人 230,000円(航空券は含まれておりません)

*料金に含まれているもの:

宿泊代(2名1室)、視察、食費(朝4)など日程表記載の内容。(海外航空運賃は含まれておりません。)

*料金に含まれていないもの:

航空運賃、航空諸税、海外旅行保険、チップ、飲み物他個人的費用他、日程表記載外の内容。
(1人部屋をご希望の場合は追加料金は 44,000円となります。)

※海外航空券の手配はご希望により承ります。2019年8月7日現在、日程表に記載のAFは約 18万円
(航空 券、燃油SC、航空税等)で購入できますが、購入時期が遅くなると高くなる場合もあります。
ご自身で手配され他社便利用の場合は別途お知らせください。現地集合、解散の際の確実な手配の
調整をさせていただきます。

■定員:10名 (最小催行人員:4名) 現地コーディネーターがご案内

■利用航空会社(予定): エールフランス航空(AF) エコノミークラス

■利用ホテル(予定): Hotel del la Porte Doree(パリ) ヴァンセンヌの森周辺のエコロジーなホテル

★一人部屋希望について★

追加費用(44,000円)でお受けできますが、部屋数に限りがありますので、早めにお申し込みください。
また、相部屋希望(主催者にお任せ)でお申込みの方で、同性の参加者の組合せができなかった場合、最後
にお申込みの方は一人部屋となります。後日、所定の一人部屋追加料金を請求させていただきますのでご
了承下さい。

お問合せ・参加申し込みは・・・

有限会社リボーン<エコツーリズム・ネットワーク> 埼玉県知事登録旅行業第2-1198号 ANTA正会員

〒337-0003 埼玉県さいたま市見沼区深作3-36-19 TEL 048-687-5455 FAX 048-677-2933

Email: kiaora@reborn-japan.com URL: <http://reborn-japan.com> 受付時間: 10:00~17:00 (土日・祝日は休業)